

# やまなしの福祉

3 No.346  
2019  
月号



写真：甲府市南西地域包括支援センター 家族介護教室の様子

特集

## 高齢化が進む山梨県 急に介護をすることになったら

- |    |                     |     |                    |
|----|---------------------|-----|--------------------|
| P5 | あると便利な福祉用具紹介        | P8  | 山梨県シルバー俳句大会 俳句作品募集 |
| P6 | ことぶきマスター認定証交付式・研修会  | P9  | ソウェルクラブ年間活動報告      |
| P7 | 食でつながるフェスタやまなし      | P10 | 福祉人材センターの紹介        |
| P8 | ねんりんピック富山2018 帰県報告会 | P11 | ボランティアセンターの紹介      |



# 高齢化が進む山梨県

## 急に介護をすることになったら

山梨県の高齢化は急速に進んでいます。昨年の7月に山梨県が行った「平成30年度高齢者福祉基礎調査」によると、山梨県の高齢化率は29.4%、3.4人に1人が65歳以上となり、全国の高齢化率28.0%と比べると1.4ポイント高くなっています。

また、在宅の寝たきり高齢者数を見てみると、5年前（平成25年度）の7,541人に対し、平成30年度は8,759人と右肩上がり増加しており、在宅で介護をなさっている世帯も増えているのではないかと考えられます。

そこで今回は、一緒に住んでいるご家族の介護が急に必要になったとき、または、既に介護をなさっている方や、そろそろ介護が必要かなと考えている方々に、知っておくと役立つ介護情報について「甲府市南西地域包括支援センター」と「山梨県立介護実習普及センター（指定管理者：山梨県社会福祉協議会）」にお話を伺いました。

## 介護に関する相談窓口としての役割を 地域包括支援センターが担っています

毎月何十件もの介護に関する相談が寄せられる甲府市南西地域包括支援センター。相談内容は多様で、全体の4割は家族からの相談だといいます。

介護の最初の気づきは、もの忘れの多さや年齢などから。なんとなく「そろそろ介護が必要な時期かな」と感じる方が多いようです。

地域包括支援センターは、介護に限らず高齢者の生活に関する困りごと全般の相談を受けています。支援の内容は、介護保険の情報提供・手続きだけでなく、地域独自のサービスや家族でできること、医療でできることなどから提案します。本人と家族の意向が最優先ですが、専門家の視点で提案することもあります。



甲府市南西地域包括支援センター



甲府市南西地域包括支援センター  
センター長 青柳 京子さん

本人の異変に気付くのは、同居している家族だけではありません。たまに会う家族が気づくこともあります。遠方に住む家族が親を心配して相談いただくことも増えています。

また、近年は地域の人からの相談も増えており、「最近あの人を見かけない」など、近所の人の気づきがその後の助けとなる場合も多くあります。

青柳センター長は、「私たちは相談を受けたら内容を素早く共有し、適切な担当者を決めて支援にあたります。その際『本人が最後まで自分らしくいるために』という考えがぶれないように、気をつけています。ただし、相談を受けても全てに支援ができるとは限りません。正しい情報を把握しその情報をもとに、専門家や適切なサービスにつないでいくのも地域包括支援センターの重要な役割なのです。」と語ってくれました。

## 家族にできることは？

精神的な支えは、本人の安心感につながります。普段からコミュニケーションをたくさん取り、いざというときに本人がどうしたいのかを知っておくことが理想です。何を大切にしているか、何を大切に生きてきたかを知っていれば、やがて介護が必要になっても、本人の納得のいく生活をサポートすることができます。

介護は一度はじまったら全ての方で負担が重くなっていく訳ではありません。甲府市南西地域包括支援センターが把握している事例の中にも退院直後は「要介護2」でしたが、適切な介護サービスや支援により「要支援2」までに改善し、入院前と同じ一人暮らしが出来るようになった事例もありました。

「福祉に関する色々な情報を知っておくことは、いざという時に手助けにもなります。介護はいつ必要になるかわからないことだからこそ、早いうちから話し合っておけるといいですね。」と青柳センター長は話してくれました。

## 介護保険でできることは？

介護保険は、介護が必要となった高齢者とその家族を社会全体で支える自立支援サービスです。サポートの手を借りながら、なるべく自分自身で生活を営むことを目的とする支援制度です。

介護保険制度は、自宅に住みながらサービスを受ける「居宅介護」や、施設に入居してサービスを受ける「施設介護」など、さまざまな介護事業者が提供するサービスの中から自分に合った内容を選択することができるというのが大きな特徴です。福祉用具は購入やレンタルすることもできます。

介護保険サービスの利用を開始するには、市町村に要介護認定などの申請が必要です。市町村やお住まいの地域包括支援センターへご相談ください。

## 介護者のストレスを和らげる取り組み

介護の負担は決して小さなものではありません。介護者が1人で抱え込んでしまうことは、ストレスに繋がります。そのような中、地域包括支援センターでは、様々な取り組みを行っています。

例えば、甲府市南西地域包括支援センターでは、年1回「家族介護教室」を開催しており、参加者同士の交流の場にもなっています。

また、山梨県立介護実習普及センターでは年1回、「介護者のリフレッシュ法～こころの話とヨガ」を開催しています。

これら以外にも、自分と同じような悩みを抱えている人と話をする事で、気持ちが前を向くこともあります。ぜひ、このような機会を利用して、心身のリフレッシュを図ってみてはいかがでしょうか。



## 山梨県立介護実習普及センターの「介護講座」を活用しよう

甲府市北新の山梨県福祉プラザにある「山梨県立介護実習普及センター」では、年間を通して様々な「介護講座」を開催しています。基礎的なものから、専門技術を学ぶものまで、内容は多彩。講座は基本的に無料(一部材料費がかかるものもあります)です。講師は、医師や現役の訪問看護師などが担当しています。また今年4月からは、家族介護者向けの出張講座もはじまります。(問い合わせ先 055-254-8680)

「介護をされているご家族の方は、色々なことに不安で困っています。見よう見まねで介護を行なっている人も少なくありません。講座を受けることで、基礎から技術を学ぶことができるうえ、自分の介護ケースに合わせたアドバイスを受けることもできます。実際にまだ介護がはじまっていない方も、知識を身につけておけば“いざ”という時に対応することができます」と担当者。

講座は「床ずれ予防」「口腔ケア」「清潔を保つケア」など、テーマごとに分かれており、自分の関心や必要と感じる内容だけを学ぶことができますので、ぜひご利用ください。



約500点を揃えた福祉用具展示室



## さまざまな福祉用具を紹介 実際に手に取ってみることも

山梨県立介護実習普及センターは、常時約500点の福祉用具を展示しています。福祉用具には介護が必要な方の自立を支援し、生活の可能性を広げる用具や介護する側の負担を減らしてくれる用具などがあります。そこで重要なのが、支援を必要とする方に適したものを選ぶことです。カタログの写真を見ただけでは十分ではない場合もありますが、同センターでは、福祉用具を実際に見て、触れて、試すことができます。

「自助具から、買い物用のシルバーカー、床ずれ予防ができるマットレス、ロボット機能を搭載した福祉用具など、『こんな福祉用具もあるんだ』と知ることができます。祝日を除き、土日も開いているので、支援が必要な方とご家族と一緒に訪れていただき、あれこれ試しながら、その人に合わせた用具を選んでいただければと思います」

## これからの家族介護

自分の家族が要介護状態になったとき、大きなショックを受けパニックとなり、何から手をつければよいのかわからなくなってしまう方もいます。また、不安や悩みをひとりで抱えていると、精神的に疲れが溜まってしまい、自分の生活や仕事にも支障をきたしてしまいます。

介護の不安や悩みを解消するには、まず家族の協力を仰ぐこと、また、普段から相談できる相手をもつこと、いざというときには、市町村の地域包括支援センターが相談窓口となっていることを思い浮かべてもらえればと思います。

高齢社会の進行とともに、様々な支援サービスが提供されるようになりました。介護に疲れてしまう前に、どんな小さなことでもよいので、まずは相談窓口にご相談しましょう。



# ＼あると便利な／ 福祉用具紹介

## Introduction of Welfare Goods

### ■優遇処置： 福祉用具貸与対象

三次元構造が特徴の車いす用クッションです。35年以上の臨床経験のある作業療法士との共同開発で、車いすでの立ち上がりやすさや機能的活動を考えた自立支援型のクッションです。

構造は大きく隆起した大腿支持部と骨盤を包み込む形状の骨盤支持部を組み合わせています。これにより①車いすの背もたれに軽くもたれた状態、②上体を軽く前傾させた食事などでの姿勢、③上体を垂直に起こした基本姿勢、そして④立ち上がり途中の大腿部支持姿勢のいずれの状態にもしっかり対応できます。特に④により利用者の立ち上がりが楽になり介助者の負担軽減が期待できます。また、体型に合わせて調整可能なアジャスタークッション付きで、大柄な方から小柄な方まで安定した利用が可能です。

カバーが洗えるカバーリングタイプと汚れが拭き取りやすいコーティングタイプがあります。カバーはブルー1色で、コーティングタイプにはパープル、スカイブルー、レモンイエローの3色があります。

### 株式会社イノアックリビング

# Swimo(スイモ)

#### 用具種類 車いす付属品

- カバーリングタイプ  
税別価格 25,000円、月額レンタル料 2,000円
- コーティングタイプ  
税別価格 40,000円、月額レンタル料 3,000円

**POINT!** こんな方にオススメ!

車いすの座位保持、車いすからの立ち上がりを改善したい方

### 日本セイフティー株式会社

# ラップポン・ブリオ

#### 用具種類 ポータブルトイレ

税別価格 92,500円

**POINT!** こんな方にオススメ!

夜間等にトイレまでの移動が困難な方  
ベッドの脇に設置して使用

ベッドの脇に設置し、利用者が夜間等に使用するポータブルトイレです。家具調で違和感なく室内に設置できます。従来のポータブルトイレは排泄物を座面下のバケツに収容し、翌朝等にバケツを洗浄する必要があり、その間臭いが室内に残ってしまうということがあります。

この商品では自動ラップ処理ユニットを搭載し、専用カセットフィルムを使用することにより排泄物を密封し、臭いをもとから断ちます。密封した排泄物はそのまま一般のごみとして出すことが可能です。

バケツ洗浄が不要になり家族介護者の負担が減ることに加え、排泄物に一切触れることがありませんので清潔です。

価格は介護保険の福祉用具購入限度額(10万円/年)内であり、利用者負担分(1~3割)のみで購入できます。消耗品のカセットフィルムは別途負担となりますが1回あたり50円程度のコストでお求めやすくなっています。



### ■優遇処置： 特定福祉用具購入対象



# 平成30年度 ことぶきマスター 認定証交付式・研修会を行いました！

ことぶきマスター制度とは、長年の経験から得た知識や技能をお持ちの方を「ことぶきマスター」として知事が認定し、同時に「ことぶきマスター人材バンク」へ登録していただき、市町村や各種施設からの派遣依頼に応じて指導者または発表者として活動していただく制度です。

今年度は、新たに11名の方々が「ことぶきマスター」に認定され、認定証交付式と研修会を、平成31年1月25日(金)にイオンモール甲府昭和にて行いました。

第1部は、3階イオンホールで認定証交付式が行われ、その後、研修会として、現在ことぶきマスターとして活動されている山梨県健康生きがづくりアドバイザー協議会 会長 沢登京子様(南アルプス市)からお話をうかがい、その話をもとに、グループに分かれて交流会を行いました。



①



②



③



④



⑤

- ① 新規認定される皆さん
- ② 認定証交付式の様子
- ③ 研修会主催 県社会福祉協議会 茂手木常務理事のあいさつ
- ④ ことぶきマスター事例発表 山梨県健康生きがづくりアドバイザー協議会 会長 沢登京子様
- ⑤ グループ交流会の様子

第2部は、1階さくら広場にて「ことぶきマスターフェスティバル」と題して、5組のことぶきマスターの皆さんに活動発表をしていただきました。



相川宝楽様(三味線)



横内幸男様(フォークソング)



大村久米子様(認知症予防体操)



萩原親作様(ピエロマジック)



中央市粘土節保存会様(粘土節)



後藤芙美子様(司会)

全体を通し、約100名の方の参加があり、「とても有意義な時間を過ごすことができた」との感想をいただきました。

# 食でつながるフェスタやまなし を開催しました!

昨年の12月2日(日)に「食でつながるフェスタやまなし」(主催:食でつながるフェスタやまなし実行委員会)を山梨学院短期大学にて開催しました。

本フェスタは、食を通じた居場所づくり活動の普及・啓発、また活動団体との交流を目的に開催され、平成30年3月18日(日)に第1回目が行われ、今回で2回目の開催となりました。運営については、山梨県内外の子ども食堂や地域の居場所づくりに取り組む団体など10団体で実行委員会を構成し開催しました。

主な内容は、食を通じて、子ども、若者、また住民の方々が集える地域の居場所づくりについて考える講演、また、子ども食堂運営団体と運営について考える座談会、企業による居場所づくり活動への支援取組の発表、若者や高齢者の居場所づくり活動を学ぶ分科会などが行われました。

参加者は、県内外から124名の福祉関係者、NPO団体、企業、行政、学生など多様な方々が参加され、参加者からは「子ども食堂=貧困というイメージが変わった」「どの団体も個性があり、山梨で活動している団体を知れてよかった」「参加型で、他の参加者の意見を伺ったり、自らの考えを示したりと、皆で一緒に“考える”という構図が素晴らしいなと思いました」などの感想が寄せられ、活動団体との交流や食を通じた居場所づくりについて皆で考える会となりました。

## 講演の様子



## 分科会の様子



## 当日は、調理体験、試食会も行いました



# 第31回全国健康福祉祭とやま大会 帰県報告会

(ねんりんピック富山2018)

12月17日(月)、山梨県庁特別会議室にて、第31回全国健康福祉祭とやま大会(11月3日～6日に富山県にて開催)に出場した本県選手団の帰県報告会を行いました。当日は大会に出場した選手の代表者や入賞者ら23名が出席し、山梨県選手団を代表し、芦澤団長(山梨県社会福祉協議会長)が後藤知事に県旗を返還するとともに、大会の成果を報告しました。芦澤団長は「さらなる目標に向かって精進し、地域社会や長寿社会づくりに貢献したい」と抱負を述べました。

なお、来年度の第32回全国健康福祉祭は和歌山県にて開催されます。



県旗返還



集合写真

## いきいき山梨ねんりんピック2019 山梨県シルバー俳句大会 俳句作品募集

いきいき山梨ねんりんピックの一環として催している山梨県シルバー俳句大会の作品を募集します。

### 応募資格

山梨県内在住の60歳以上(昭和35年4月1日以前に生まれた方)のアマチュア

### 応募方法

ハガキに未発表作品1人2句以内(雑詠)を楷書で記入し、必要事項(住所・氏名・生年月日・年齢・性別・電話番号)を明記のうえ、応募期限までに送付。投句料は無料。

### 留意事項

俳句作品・氏名等の漢字には必ずふりがなを付け、楷書にて誤字・脱字のないよう記入。  
また、筆名使用の場合は、必ず本名も併記すること。

### 応募期限

2019年3月19日(火)(当日消印有効)

### 応募・問合せ先

〒400-0005 甲府市北新1-2-12 山梨県福祉プラザ4階  
山梨県社会福祉協議会 福祉振興課内 山梨県シルバー俳句大会係 宛  
☎ 055-254-8610





# ソウェルクラブ 年間活動報告

福利厚生センター(ソウェルクラブ)は、社会福祉事業や介護保険事業に従事する方々の福利厚生の増進を目的とした社会福祉法人です。法人単独では費用が高くなるサービス、実現の難しいサービスを提供しており、現在、山梨県内では約1,250名が加入しています。山梨県社会福祉協議会は、福利厚生センター山梨県事務局を受託し、旅行やチケット斡旋等の会員交流事業を運営しています。

## 平成30年度事業内容

区分	事業名
旅行	ラフォーレ倶楽部1泊2食プラン
	南房総・海鮮浜焼き食べ放題とアウトレットパーク木更津
	SL(大井川鐵道)に乗って紅葉狩り
	東京ディズニーランド パーク・ファン・パーティー
	ハイランドリゾートホテルのランチとふじやま温泉入浴(12月・3月)
観劇	劇団四季「SONG & DANCE」
	ポップサーカス山梨公演
斡旋	映画観賞券ペアチケット
	全国共通お食事券



## 参加者からの声

- 良い企画が多く、毎回楽しみにしています。
- 行きたいと思っていた旅行に参加できて、よかったです。
- ディズニーのキャラクターと写真が撮れ、プレゼントも貰えて楽しかった。

# ソウェルクラブ

(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

## 新規会員 募集中!

会員数 262,000人 /

### 職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ ●電話健康相談

### 職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈 ●出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈

### 地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)
- 地域開発メニュー

### 職員の万一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

### 職員の余暇活用のために

- 指定保養所…休暇村、KKR、グリーンピア、ダイワロイヤルホテルズ
- 会員制リゾート施設…ラフォーレ倶楽部 セラヴィリゾート泉郷
- クラブ・サークル活動助成
- テーマパーク ●国内・海外旅行
- レンタカー ●カルチャースクール等

### 職員の資質向上のために

- 資格取得記念品贈呈 ●海外研修
- 広報講習会 ●接遇講習会
- レク・リーダー養成講習会
- メンタルヘルス講習会
- OJTスキルアップ講習会
- ディズニーアカデミー
- e-ラーニング
- 〔 Excel, Word, PowerPoint, コンプライアンス, メンタルヘルス 〕

### 職員の生活サポートのために

- 住宅ローン ●特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

### 各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

### 加入要件

- ・契約対象者…社会福祉事業又は介護保険事業(※)を経営する者
  - ・加入対象事業…社会福祉事業又は介護保険事業(※)
  - ・加入対象者…上記事業に従事する役員全員(非常勤職員含む)
- ※対象事業の詳細についてはお問い合わせください。

### 掛金

- ・第1種会員(常勤職員向け) …… 毎年度1万円
  - ・第2種会員(非常勤職員向け) … 毎年度5千円
- ※非常勤職員が第1種に入会することもできます。  
※第2種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。

加入申し込み、お問い合わせは、フリーダイヤル

TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722

<http://www.sowel.or.jp/>

**Sowel**  
CLUB

社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-1  
NBF小川町ビルディング

全国約75,000か所の施設を割引価格で利用できる

ソウェルクラブ “クラブオフ”

# 福祉人材センターの紹介

## 福祉人材センターとは？

福祉の仕事をめざす方と人材を求める福祉の職場をつなぎます。

無料で求人・求職の登録ができ、福祉の仕事を探している方と、人材を求める福祉の職場をつなぐ役割を担っています。

法律に基づく公的な職業紹介所なので安心して相談できます。

福祉人材センターは、厚生労働大臣の許可を得て無料職業紹介事業を実施している公的機関ですので、安心してご利用いただけます。

福祉の仕事に関する理解促進のためのセミナー・イベントを開催しています。

福祉の仕事への理解と関心を深めてもらうためのイベントをショッピングモールなどで行っているほか、求人事業所との面談の場として就職相談会等を開催し、福祉人材の確保、定着に努めています。

## インターネットから求職登録・求人情報の閲覧ができます



### お仕事検索・応募

各都道府県ごとの求人票を検索、閲覧することができます。

### 求人・求職登録はこちら

- ・求人票に対しての紹介状発行・応募が可能に
- ・スカウト機能の利用で事業所から個別にスカウトが受けられます。

## 福祉人材センター公式LINE

福祉人材センター主催の相談会の他、県内の福祉に関するイベントなどの情報を配信。

福祉人材センター公式 LINE へのメッセージで、仕事や資格に関する相談にもお答えします。

**LINE@**  
友だち募集中。  
友達登録で  
人材センター情報をGET!!



**山梨県福祉人材センター**

## 所在地・アクセス



### ■バスご利用の方

JR甲府駅北口より塚原行、千代田湖行、上帯那行、HANAZONOホスピタル行バスで10分  
山梨県福祉プラザ(停留所)下車

社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会 〒400-0005 山梨県甲府市北新1-2-12 山梨県福祉プラザ4F  
山梨県福祉人材センター TEL.055-254-8654

窓口ご利用時間 午前9時から午後5時まで（年末年始・土曜日・日曜日・祝日は休み）



# 市川三郷町 社会福祉協議会

市川三郷町社会福祉協議会では、地域福祉活動計画の基本目標を「住民参加の福祉のまちづくり」とし、ボランティア団体の支援やボランティア活動の推進・福祉の担い手づくりを取組目標として掲げ、下記の事業を行っています。また、「お互いに支え合うまちづくり」として、災害時に助け合いができる住民同士のつながりづくりとして災害ボランティアセンターの取組を行っています。下記の事業の中から行った活動をピックアップして紹介します。

## 住民参加の福祉のまちづくり

- ボランティアコーディネート事業
- 小・中学校福祉体験及びコーディネート事業
- 小・中学生夏休みボランティア体験事業
- ボランティア連絡協議会事業
- ボランティア活動実施校助成金事業
- フードドライブ事業

## お互いを支え合うまちづくり

- 災害ボランティアセンター協力員連絡会事業
- 災害ボランティアセンター協力員養成事業
- 災害ボランティアセンター運営事業

### ★ 市川三郷町ボランティア団体ガイドブックの作成 (ボランティア連絡協議会事業)

市川三郷町ボランティア連絡協議会では、多くの方に活動を知ってもらおうと28加入団体が掲載されたガイドブックを作成しました。



市川三郷町  
 ボランティア団体  
 ガイドブック

### ★ ボランティア入門講座 (ボランティアコーディネート事業)

地域で行うボランティア活動(支え合い活動)をテーマに講座を開催しました。

### ★ 手話講座のコーディネート (小・中学校福祉体験及びコーディネート事業)

市川三郷町では山梨県で初めて手話言語条例が施行され、手話について小中学校でも積極的に取り組んでいます。多くの学校でボランティア活動実施校助成金を活用し、福祉講話の位置づけで手話講座を行っています。手話講座のコーディネートを社協で行い、町役場、市川三郷町聴覚障害者協会、手話サークル神明の皆様にご協力いただき行っています。



六郷小学校  
 手話講座の様子



**市川三郷町社会福祉協議会** 業務時間：月～金曜日 8:30～17:15

住所：西八代郡市川三郷町市川大門 416

<http://www.im-syakyo.sakura.ne.jp/>

**TEL：055-272-4179**

**FAX：055-230-3137**

この広報紙の作成費用の一部は赤い羽根共同募金配分金により発行されています。



## 善意をありがとう

### 使用済み切手のご寄贈

山梨中央銀行職員組合様から、使用済み切手9.4kgのご寄付をいただきました。同組合では、平成10年から社会貢献として使用済み切手の収集・寄贈を行っています。今年度で21回目、合計213.6kgとなりました。

使用済み切手は、山梨県社会福祉協議会を通じ、福祉施設に贈られ換金され、フィリピン子ども達へ中古衣類を送る活動資金などに役立てられています。

ありがとうございました。



### やまなしとしび基金へのご寄付

「山梨としび基金」に対し、山梨県労働者福祉協会(中澤晴親会長)様より、100,000円、連合山梨(萩原雄二会長)様より100,000円のご寄付をいただきました。山梨県労働者福祉協会様は昭和62年から今年で32回目、連合山梨様は平成8年から今年で23回目のご寄付となります。

いただいたご寄付は、民間福祉活動の助成を行う「山梨としび基金」で活用させていただきます。



山梨県労働者福祉協会 中澤晴親会長(右)



連合山梨 萩原雄二会長(右)

### 車椅子のご寄贈

横河マニュファクチャリング株式会社甲府事業所(戸松浩代表取締役社長)様より、車椅子1台を社会福祉法人清長会千代田荘様へ寄贈いただきました。

寄贈いただいた車椅子は、同社の従業員の皆さんが、甲府事業所内の自動販売機で購入した飲料の空き缶1年分を原料に、メーカーに依頼して制作したものです。

ありがとうございました。



### 車椅子のご寄贈

マックスバリュ東海株式会社(本社・静岡県、神尾啓治代表取締役社長)様より、車椅子の寄贈をいただきました。マックスバリュ東海株式会社が運営するマックスバリュ、BIGの県内各店舗で環境活動の一環で取り組まれている「アルミ缶」「牛乳パック」のリサイクル事業で車椅子を購入し、店舗所在地の社会福祉協議会へ合計15台寄贈いただきました。

この活動は、平成17年から行われ、今年で14回目となり、県内への寄贈は延べ156台となりました。

ありがとうございました。



### ダブルクリップのご寄贈

パイオニア・マイクロ・テクノロジー株式会社(寺田勝彦代表取締役社長)様より、環境活動の一環として、リユースのダブルクリップを寄贈いただきました。

いただいたダブルクリップは、就労移行支援事業所の活動のために活用させていただきます。

ありがとうございました。



## 読者アンケートのお願い

今後の紙面づくりの参考にさせていただきますので、ぜひご協力ください。

問 1 「やまなしの福祉」の内容はいかがでしたか?

読みやすさ

①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

色・文字の大きさ

①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

記事の内容

①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

全体満足度

①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

問 2 興味を持った記事を3つ教えてください。

問 3 広報紙「やまなしの福祉」で取り上げてほしい内容や広報紙に関するご意見、ご感想をお聞かせください。

FAX・ハガキ・メールでご回答ください

宛 先 〒400-0005 甲府市北新1-2-12  
山梨県福祉プラザ4階  
山梨県社会福祉協議会 総務企画課  
FAX 055-254-8614



なお、上記QRコードからも回答できます。

関自共の  
**自動車共済**

団体割引 10%  
福祉施設割引 10%

\*団体割引は共済契約者、被共済者が当組合の規定を満たす場合のみで、台数規模と損害率により決定し、毎年見直されます。

関東自動車共済協同組合 山梨県支部 甲府市飯田4-4-2 TEL 055-237-8331 FAX 055-237-8332